

みらい通信

③
H16年
2月号

発行 連絡先 NPO法人紫波みらい研究所
〒028-3305
岩手県紫波郡紫波町日詰字郡山駅57-3
電話・FAX 019-676-6103
E-Mail miraiken@shiwa-mirai.com
ホームページ http://www.shiwa-mirai.com



地産地消推進部会が、『平成15年度いわておもしろ地産地消大賞』を受賞しました！

旬を大切に、風土が育んだ食材や食文化をもっと食卓に取り入れようと、仲間が集まって地産地消研究部会は誕生しました。

以来、東京・西麻布「分けとく山」総料理長の野崎洋光さんを講師にお招きし、過去4回にわたって取り組んできた地産地消講習会「紫波の旬を美味しくつくる」の開催。その集大成として『食話～人に良い話～』を発刊し、紫波町の地産地消を広くPRしてきました。

また、有機農業・自給自足農業の先進地である宮崎県綾町を訪ねての研修体験や、安全で美味しいものをつくりたいと頑張っている地元の生産者や達人を講師に招いてのワン・コイン・セミナー「食は地元であり!」の開催、紫波町産業まつりでは「紫波の地産地消祭り」の総合的なプロデュースなどを行いました。

多くの方々に貴重なアドバイスをいただきながら、これまで取り組んできたことが、紫波町における地産地消の普及と啓発に大きな役割を果たしたと高く評価され、今回の受賞となりました。

わたしたちの活動に関わってくださったすべての方々に、心より御礼を申し上げます。ありがとうございました。

表彰式は2月20日(金)「スローライフ・スローフードセミナー」の中で行われました。



当日の様子は、参加した会員さんよりレポートをいただきましたのでご覧ください。

地産地消推進部会のメンバーが、野崎洋光さんと再会！

平成16年2月21日(土)に岩手県立大学講堂で開催された、もりおか地方食文化発信ネットワーク主催の「盛岡地方食文化発信フォーラム」で、野崎洋光さんが講師に招かれ、「人によい話」というタイトルでご講演されました。

地元でとれた新鮮な食材を用いて、その食材の持つ特色を消すことなく、最大限に活かして調理し、楽しく美味しく食するということが、人の心と体の健康につながっていく「人によい『食』」です…という内容でした。

講堂エントランスホールで、当研究所地産地消推進部会のメンバーと再会し、励ましのことばを頂戴しました。



※『いわておもしろ地産地消大賞』とは？

岩手県では、創意工夫を凝らして、大きな成果をあげている地産地消の取組みを表彰する「いわておもしろ地産地消大賞」を平成15年に創設しました。県内各地域で実践されている意欲的な取組みをたたえ、広く紹介することにより、県内への波及を図り、民間主体の地産地消運動の更なる促進を目的としています。

★表彰団体一覧

- ・紫波みらい研究所 地産地消推進部会(紫波町)
- ・大ヶ生みょうが加工クラブ(盛岡市)
- ・東和町グリーン・ツーリズム運営協議会(東和町)
- ・江刺産直組合(江刺市)
- ・大東町産直センター(大東町)
- ・陸前高田市農政懇話会(陸前高田市)
- ・岩泉町産直連絡協議会(岩泉町)
- ・野田塩ペコの道(野田村)
- ・穀彩王国ミレットフェア実行委員会(二戸市)
- ・ポラン農業小学校(県域団体)

高橋力理事長がご退任されました

高橋力理事長が、昨年の11月4日、一身上の都合によりご退任されました。現在は高橋米勝副理事長が、理事長の職を代行しています。

高橋力さんは、紫波みらい研究所設立当初から、研究所発展のためにご尽力くださいました。今後とも、「100年後の子どもたちに昔からある良いものを伝えたい、すばらしい環境を残したい」という、研究所の目標を見失うことなくステップアップしていくことが、高橋力さんへの恩返しになると考えています。

東北銀行紫波支店に、 私たちの取組みを展示中！

このたび、東北銀行紫波支店のご好意により、店舗の一角に、紫波町が進める循環型まちづくりの取組みと当研究所の活動を紹介する展示コーナーを設置しました。

当研究所からは写真やパネルを展示し、森林資源循環の取組みをわかりやすく紹介しています。今後も毎月1テーマを取り上げ、地産地消、環境探検隊、無機資源循環などの取組みを紹介していく予定ですので、お近くにお越しの際は、ぜひ覗いてみてください。

■展示スケジュール

- 1月中旬～ 森林資源循環・森と家づくりの会
- 2月下旬～ 地産地消推進部会・環境探検隊
- 3月下旬～ 資源回収や省エネについて

【 今後の予定 】

◆ 会員交流会

3月15日(月) 18:30～ 紫波町役場第2会議室

平成15年の事業年度末に差し掛かり、来年度に向けて会員さん同士の繋がりを深める会を開くことになりました。また、併せて来年度事業についての意見交換も同時に行いたいと思います。

当日は各部会ごとに分かれて話を進める形になる予定です。今後、各部会ごとの打合せなどの連絡をしやすいするため、ご自分が主に力を発揮したい分野や部会はどこか、別紙にご記入の上、事前に教えていただけたら嬉しいです。当日来られない方も、ぜひご記入の上、ご連絡をお願いいたします。

◆ 『ワン・コイン・セミナー 食は地元にあり! 第3弾』

メインスピーカー: 江崎澄雄さん(有機農業家)

3月18日(木) 19:00～ 日詰商店街なんバザホール

みらい研究所の会員である江崎さんは、盛岡市在住の農業家です。塾経営から有機農業への転身、そして生産から加工までを手作りで行い、宅配販売までをこなしています。

今回のセミナーでは、農業へ転身するまでにいたった経緯から、有機栽培に対する思いや生産者の本音を伺い、意見交換することによって有機農産物に対する理解を深める機会にしたいと思います。

※「ワン・コイン・セミナー 食は地元にあり!」とは

安全で美味しい食べ物づくりに頑張っている地元の生産者や料理の達人から話題提供をいただいて、作り手の思いを聞きながら、参加者は自由に疑問や質問を投げかけることができるセミナーです。話すことが苦手な方でも、質問に答える形で気軽にメインスピーカーを務められます。生産者と消費者を結び、お互いに理解を深めるのが目的。会費は500円。硬貨一枚(ワンコイン)で誰もが参加できる。また、日詰商店街の「なんバザホール」を利用し、商店街のみなさんと共に地産地消の活動に取り組むことによって、日詰商店街の活性化のお役に立ちたいと考えています。

<< 事務局より >>

立春を迎え、冷たい風や雪も穏やかに思える今日この頃、みなさんいかがお過ごしでしょうか。昨年の10月から途絶えていたみらい通信ですが、ようやく第3号を発行することができました。ホームページでは旬の情報を提供するように心がけていますが、ご覧になれない方々にとってはご案内が遅れてしまう結果となり、申し訳ありませんでした。

紫波みらい研究所は、会員同士が自主的に集まって運営している団体です。ホームページも会報も、会員が時間を見つけて作成しています。今後、会報をより充実させるためにも、皆さんからの投稿をお待ちしています。

どうぞご応募下さい。

募集!

- あなたの好きな紫波の場所を教えてください!
- 昔から伝わる料理を教えてください!
- 「紫波町(町外でも可)の春」といえば何を思いつきますか?

上記に限らず、これだ!と思うことがあれば何でも結構ですのでよろしく願いいたします。